

しあわせおっぱい通信

岐阜県総合医療センター母乳育児推進委員会 Vol. 51 2024. 春にちかいけど冬号



母乳は赤ちゃんの栄養として、一番やさしいということは、たくさんの方が知っています。そして、多くのママが、母乳を赤ちゃんに飲ませたいと願っています。でも、母乳を飲ませながら育児をするには、パパやご家族の応援が必要です。今回は、**パパにできる母乳育児支援**についての取り組みを特集します。



病院HPからも見られます

2023年11月14日
母乳育児支援ミニワークショップ

テーマ「父親にできる母乳育児支援について」
2名の男性メンバーを交えて、話し合いました。

男性の育児休業が遠慮なくとれる社会を作っていく
初めての育児は母親も何をするにも大変。とにかく否定せずに話をきく
いたわりの言葉をかけることが大切ではないか
母乳をあげたいという気持ちに寄り添ってほしい
母親がひとりで家事、育児、仕事をするのは不可能
父親が家事をどのくらいサポートできるかで、子育ての楽しさは変わってくるのではないか



大喜利



男性委員に、大喜利アンケートをしました！

お題「ママは昼間だけでなく、夜中も赤ちゃんが欲しがるとなると、何度も起きて授乳をしています。朝、ママは眠っています。パパの出勤には起きれそうにありません。パパはどうする？」



自分で朝食の準備をして、**洗濯も干して**いきます

ママの分も朝ごはんの準備をして、ママを起こさずに、そっと出勤します（置き手紙をして）



ママにお出かけのkiss♥をして、出勤します（起こさないように）



ママに、何度も授乳していることをねぎらい、感謝の気持ちを、**日々伝えます**



さすが、母乳育児推進委員パパですね。ぜひ、その姿勢をすべての男性に広めて下さい

